

平成十七年史跡探訪レポート

市内―竹瓦界限歴史散歩

八月二十一日（日曜）、会員四〇名参加のもと、昨年のはじめに続き、竹瓦界限を対象に市内歴史探訪会が実施された。

案内説明を担当されたのは、別府八湯語り部の会・ガイド部会長の古川正巳さんほかで、一〇時別府駅に集合、別府八湯などの説明を受けた後市街へと向かった。

探訪か所は、駅前高等温泉・国際民宿「こかげ」・やよい銀天街・栄昌山西法寺・流川通・置屋や貸席跡（アホロートル）・坂本商店（長寿味噌）・レンガホール（別府児童館）・カトリック協会・歌人丸山待子生誕の地・紙屋温泉・住宅地図「（株）ゼンリン」跡・羽衣温泉・栄屋（アイスクャンデー製造）・中浜筋・中浜地蔵尊・竹瓦小路・平野資料館・波止場神社・竹瓦温泉ほかであった。

なかでも、国際民宿「こかげ」やアイスクャンデーを製造する「栄屋」、町おこし運動に貢献されている平野芳弘氏創設の「平野資料館」、さらには組合経営の「羽衣温泉」などは、このような探訪なくしてはなかなか知る機会のない存在であった。

「住宅地図」揺籃の地が別府であったことも会員の多くにとっては初耳であったと思われるが、西法寺の「古池やかわず飛び込む水の音」の芭蕉句碑や、石灯籠の端に据わる石像「蛙」、明治三年建立の「波止場神社」と松方政義揮毫の碑文を刻む「築港記念碑」なども印象深いものであった。この「碑文」については別途模写して会誌「別府史談」で紹介したらどうかとも思った。解散は、竹瓦温泉であったが、この温泉の建物そのものが泉都別府の歴史・文化遺産そのものである。詳細は表紙裏の解説を参照されたい。